

■第2部会 ②

里山とNPOとの関わりや

森林の活用についての考察

NPO ヒマラヤン・グリーン・クラブ

NPO 自然と緑

大塚博司

里山と人々（NPO）を連結するために肝心な事は、子供達や中高年の男女を惹きつける、魅力的なプログラムを作り、楽しく安全に遊び、学びを継続することです。そして次のステップは目的のある活動に発展連動させる事が大事だと思います。

そこで、未知なる自然やボランティア活動を理解し認識していただくために、楽しく、厳しいプログラムを学年別及び一般用を用意します。これを修了し活動を続けている人を対象にNPOと市町村が一定の基準を作成し、市町村は、これを受けて（仮称）環境推進員として認定していただきたいと思います。これは励みになります。そして、滋賀県も市町村の（仮称）環境推進員の推挙を受けた人達を、独自の基準で（仮称）環境指導員に認定していただきたいと思います。（仮称）環境推進・指導員は自分の得意分野を切磋琢磨し、その能力を生かし自然と人々を結びつけ、信頼される掛け橋として市町村からの依頼や、県からの依頼にも協力していただきます。人がまたこの村や里に、この山に来るぞ。と思ってもらえるのは、思いやりの気持ちを持った人の接触が全てであります。自然と共生の入口に立つ人を育てる事を大事に思う、我々NPOやボランティアは自立を基本と考えています。このような循環する機構は非常に大事なもののなのです。

また既存する機関も当然あると思います。この企画は当然重複する可能性は多々あると思いますが、末端の活動する人達に光を灯したいし、住み分けは考えなくてはいけない大事なことです。無視すべきではない。共に考え、人と自然の共生の為に役立つ機構に共に育てようではありませんか。高齢化・少子化の波が押し寄せ、癒されることの少ない今日の社会において、自然の中にこそ答えはあると思います。ただ、今日の自然も人工の物が多い中、本物を見抜く目や感覚が非常に大事です。

プロフィール

大塚 博司

(おおつか ひろし)

- 1968年 大阪府立園芸高等学校卒
- 1968年 全国販売農業協同組合 に就職 (現) 全農
- 1971年 住友情報処理研修センター、修了
- 1971年 自然環境に目覚める、大阪市水道局に就職
- 1973年 (故) 青野馬佐奈・当麻吉次 に水彩画を師事
- 1976年 大阪音大 待永 望氏 にフルートを師事
- 1988年 剣道、大阪勇剣会の北田他実男・土田 稔 両氏に師事
- 1995年 大阪市水道局の阪神・淡路大震災にボランティアとして長田町へ参加
- 1998年 大阪から滋賀に転宅
- 1999年 自然環境に本格的に行動に入る。
- 2000年 NPO 自然と緑・NPO ヒマラヤン・グリーン・クラブにて会員
企画担当として活動
- 2003年 滋賀県水政課の自然環境推進委員に委託
- 2004年 NPO 水政策研究所 (大阪) 会員